



1×1

ONE BY ONE

 湘南藤沢徳洲会病院
Shonan-Fujisawa Tokushukai Hospital

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL:0466-35-1177 (代表)

広報誌 MARINE Vol.127 2025年12月号
発行 広報課
[今月号の表紙] 心臓血管外科



PR magazine MARINE / December 2025

湘南藤沢徳洲会病院 広報誌 まりん

MARINE

All Living Beings Are Created Equal



2025.12

特集 心臓血管外科





心臓血管外科

最前線で、いのちに寄り添う。

心臓血管外科は医師スタッフが3名となり、手術症例数は順調に増加しております。2024 年は年間 176 件の手術と過去最多となりました。さらに2025 年はそれ以上の手術数を見込んでいます。これも患者さまや近隣の先生方からの信頼を得られている証拠と考え、これまで以上に一人ひとりの技術を向上させ、質の高い心臓外科診療を提供してまいります。

● 実は身近にある「心臓外科の病気」 ●

心臓外科で手術を受ける患者さんというと、「胸が痛くて叫んでいる」、「息が苦しくてゼエゼエ言っている」 そんなイメージかもしれませんが、そのような方もおりますが、症状が軽い方や、ほとんど症状がない方でも心臓大動脈手術が必要な方がいらっしゃいます。

さらに「こんな身近な症状が、心臓大動脈の病気が原因だったの？」と思うようなことから診断がつき、手術へつながることがあります。

早期に病気を見つけることは、心臓大動脈手術を安全に終わらせる「第一歩」です。

● 心臓血管外科と他診療科の連携 ●

よくある症状、身近な症状から心臓大動脈疾患が見つかることもあります。

心臓血管外科では院内の多くの診療科の先生方と密に連携を取りながら診療を行っておりますので、心臓疾患の疑いがあればすぐに主治医の先生から我々に連絡をいただける体制ができております。重症化する前に適切な治療を行えば手術を安全に行うことができ、患者さまが元気に退院できることに繋がっています。



心臓外科の病気は、よくある症状から
他診療科の検査で偶然見つかることが多くあります

咳・息切れ



喘息かな？と内科を受診したら、
「心臓弁膜症」だった。

発熱と貧血



精査をしたら、「感染性心内膜炎」
が原因だった。

糖尿病、高血圧の方



久しぶりに全身の検査をしたら、
「冠動脈の狭窄」が見つかった。

腰痛



急に腰が痛くなり整形外科を受診し
たら、「大動脈解離」が見つかった。

脳梗塞



原因を調べたら、「不整脈」があり、
心臓の中に血栓が見つかった。

声のかすれ

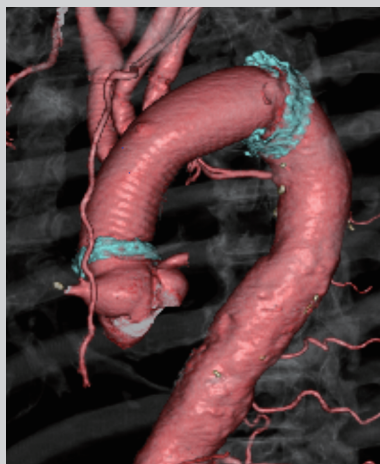
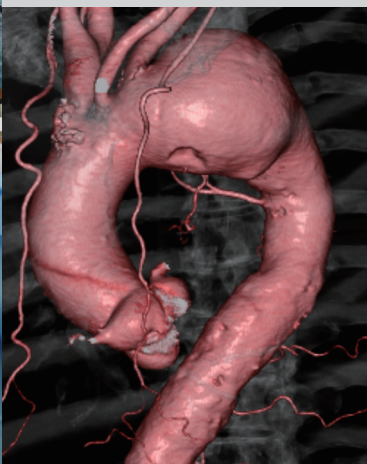


耳鼻科で相談したら、胸の「大動脈
瘤」が神経を圧迫していた。



来院される患者さまに、最適な心臓外科治療を提供いたします。
気になる症状があるときは、まずはかかりつけ医の先生に相談しましょう。
必要に応じて心臓血管外科が連携して診療を行います。

詳しい手術内容や実績、
当科の取り組みなど
ホームページはこちら▶



遠位弓部大動脈瘤に対する全弓部大動脈置換術

ひとりひとりに寄り添い 質の高い心臓外科治療を

1×1 “ONE BY ONE”

私たちのスローガンは、「1×1 (ONE BY ONE)」=ひとりひとり、ひとつひとつ。
これまでチームとして多くの心臓手術を経験してきましたが、どの方の手術も同じではありません。年齢、持病、生活背景は患者さんごとに異なります。同じ手術を繰り返すだけでは、その方にとっての最適な治療にはなりません。MICS（低侵襲手術）が望ましい方もいれば、創部が大きくても確実な手術が必要な方もいます。

ステントグラフト（血管内治療）が適している方もいれば、開胸大動脈置換が必要な場合もあります。また、もう少し薬で経過をみた方がよい場合や、体力が低下し手術を控えたほうがよい場合もあります。

私たちは、患者さんごとの違いを丁寧に見つけ、小さな変化や不安の声にも耳を傾けながら、チーム全員で“その方にとって最も良い方法”を選ぶことを大切にしています。

チームの力で最良の結果を

心臓外科の現場では、どんなに技術が進歩してどんなに安全を期しても、残念ながら合併症や急変が起きることがあります。そんなときこそ心臓外科チームの力量が試されますが、私たちは「1×1」の精神で、慌てずにひとつひとつ丁寧に問題を解決し



服部 滋 部長
Shigeru Hattori

- ・日本心臓血管外科学会 心臓血管外科専門医
- ・日本外科学会 外科専門医
- ・ステントグラフト実施基準管理委員会認定 胸部・腹部ステントグラフト実施医・指導医
- ・神奈川県 難病指定医

ていくことを大切にしています。そして患者さんやご家族とともに、病気に立ち向かっていきます。

湘南エリアの中核病院として

当院は湘南エリアの中核病院として、大動脈疾患・弁膜症・冠動脈疾患など、あらゆる領域で安全かつ確実な手術を目標に日々診療を行っています。

日々の臨床現場で培った経験と知識をもとに、全国の徳洲会グループ病院や、高水

準の手術を行っている施設と連携し、新しい医療を柔軟に取り入れています。

「患者さんのために、できることをすぐに形にする」それは私たち湘南藤沢心臓外科チームの強みと考えています。どんなに小さな不安でも、遠慮なくご相談ください。

私たちは、心臓・大動脈の病気から湘南エリアの皆さまを守るために、今日もひとりひとりに寄り添う医療＝「1×1 (ONE BY ONE)」を実践しています。

郡司 裕介 医長
Yusuke Gunji

- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科修練医
- ・日本外科学会 外科専門医
- ・ステントグラフト実施基準管理委員会認定 胸部・腹部ステントグラフト実施医・指導医



藤縄 貴大 医員
Takahiro Fujinawa

- ・日本外科学会 外科専攻医
- ・ステントグラフト実施基準管理委員会認定 胸部・腹部ステントグラフト実施医



外来受診について

予約制です。予約時に紹介状（診療情報提供書）を当院までお持ちください。



予約専用ダイヤル
（診療予約）

050-1807-1513

月曜～金曜 9：00～16：00
土曜 9：00～14：00（日曜・祝日を除く）

外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	—	—	服部	—	—	—
午後	—	服部 郡司	郡司 片山 藤縄	—	—	—

心房細動の患者さまへ

きょうくきょうか さしんじ へいさじゅつ

胸腔鏡下左心耳閉鎖術

(TT-LAAC)を開始しました！

心房細動患者さまに対し、脳梗塞予防の選択肢を提供いたします。
胸腔鏡を用い、左心耳をクリップで閉じる低侵襲手術です。
開胸や人工心肺は不要で、短期入院で治療可能です。



期待される効果

- ✓ 脳梗塞の予防と出血リスクの低減
- ✓ 術後抗凝固療法を終了できる場合があります



心房細動について

心房細動は、心臓の左心耳という部分に血栓ができやすく、脳梗塞をはじめとした塞栓症の原因になります。



これまでの治療

心房細動患者の脳梗塞を予防する方法は血液をサラサラにするお薬の内服です。しかし、再発リスク、出血リスク、長期服用が問題となることがあります。

受診方法



心臓血管外科
服部 滋 部長

ご興味のある方は外来で詳しく説明させていただきます。特に、
・抗凝固薬の長期服用に不安がある方
・出血イベントを起こしたことがある方
まず主治医の先生に相談のうえ、心臓血管外科の外来を受診ください（予約制）。



予約について▶

Seminar 公開医療講座

耳をすませば



— 心臓音からみる心臓外科治療 —

健康診断や、かかりつけ医の先生に「心雑音がある」と言われたことはありませんか？

通常の心臓の音の中に「ザー」「ジャー」といった、異常な音が混ざって聞こえることがあります。

心雑音がある場合、心臓弁膜症などの病気が隠れている可能性もあるため、注意が必要です。

会場で心臓血管外科の医師が分かりやすくお話しします！

どなたもお気軽にご参加ください。



講師
心臓血管外科 医員
藤縄 貴大

参加無料

申込不要

質疑応答
あり

12.24 水 14:00~15:00

会場：藤沢商工会館ミナパーク
5階 502 会議室
〒251-0052 藤沢市藤沢 607-1

お問い合わせ 広報課
TEL 080-1098-3970
9:00-17:00（土日・祝を除く）
✉ kouhou@ctmc.jp

第2回 辻堂 Cardio テラス Meeting を開催

循環器内科 × 心臓血管外科と 地域の医療連携ミーティング

2025 年 10 月 30 日（木）、当院主催による「第2回 辻堂 Cardio テラス Meeting」を開催しました。
本会は、当院の医師を中心に、循環器診療のいっそうの充実と地域医療連携の強化を目的として開催されました。
地域の医療関係者の皆さまにも多数で参加いただき、当日は 58 名の参加がありました。
プログラムでは下記の 2 題の講演が行われ、活発な意見交換が行われました。

- ① 「どの時点で心臓外科へ？大動脈瘤の紹介基準を整理する」
演者：藤縄 貴大 医員（当院 心臓血管外科）
座長：高木 剛 先生
（藤沢ガーデン心臓血管在宅クリニック）
- ② 「失神診療、原因検索から最近のペースメーカー治療のお話」
演者：山岸 民治 主任部長（当院 循環器内科）
座長：玉城 貴啓 先生（ソフィア横浜クリニック）

講演後の懇親会も盛況で、診療現場における課題や工夫について活発な交流が行われました。
地域の先生方との親睦を深め、循環器診療のさらなる発展につながる有意義なひとときとなりました。



循環器内科
山岸 民治 主任部長



心臓血管外科
藤縄 貴大 医員



心臓血管外科
服部 滋 部長